

理学研究科 物理学専攻

人材育成に関する目的

物理学専攻は、社会的倫理観と国際的視野を兼ね備え、自然科学に関する深い理解と洞察力に基づいて物理学分野における研究を遂行する能力と高度な専門性を有する人材、関連学術分野における幅広い学識のもとに独創的研究能力と研究指導能力を有する研究者、物理学の専門性を基盤とした教育者を育成する。

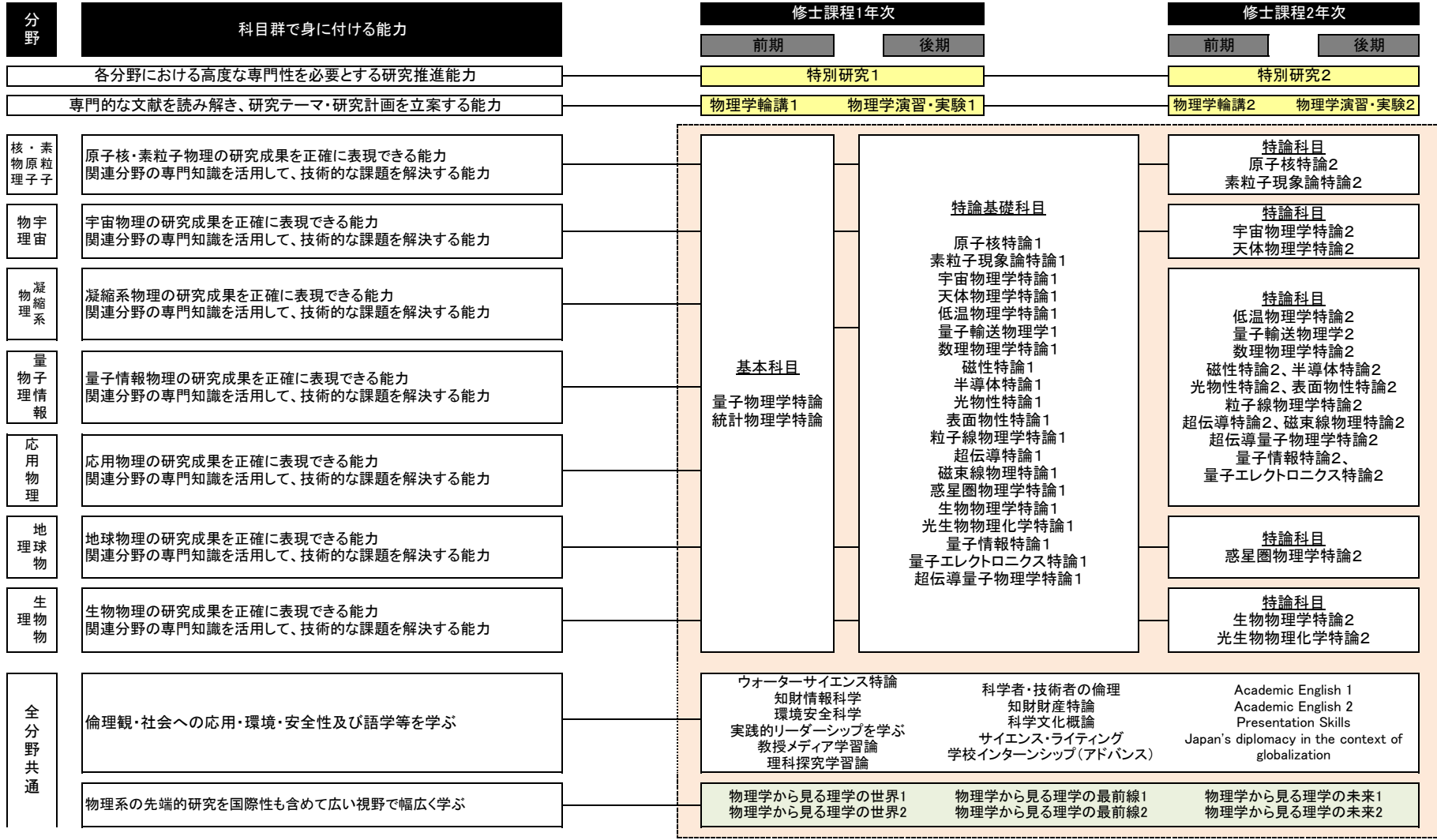
教育課程編成・実施の方針[カリキュラム・ポリシー]

修士課程においては、学士課程で養った教養、基礎学力、物理学の専門知識を基礎として、さらに「専門科目」「一般教養科目」「研究指導」により、幅広い教養を有し、それぞれの専門分野で自ら課題を発見し解決していく研究意欲旺盛な人、又は、高度の専門性が求められる職業を担う人を育成するという目的を実現するための教育課程を編成する。

(1)「専門科目」では、より高度な専門的知識を身に付けるため、特論、実験、演習等の授業科目を重点的に配置する。

(2)「一般教養科目」では、幅広くかつ深い学識を涵養する授業科目、コミュニケーション能力・倫理観・国際性等を養う授業科目を配置する。

(3)研究指導の過程では、国内外の文献の調査、指導教員等研究者との議論、国内外の学会等での発表、学術論文の発表等を行うことを通して、自身の研究成果を正確かつ効果的に表現する力、専門性を要する研究開発力、及び課題解決力を高め、研究者又は高度職業人として国内外で国際的な視野を持って活躍できる能力を育成する教育を行う。



  必修科目   
   選択必修科目   
   選択科目   
   1年次、2年次を通して履修できる科目